

令和6年度学校経営計画書

学 校 名 三次市立君田小学校

校 長 名 湯 浅 る み

I 学校の状況

学級数	5	児童数	34	教職員数	10
メールアドレス	kimita-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	www.kimita-e.hiroshima-c.ed.jp				

II 学校教育目標

【君田中学校区小中一貫教育目標】

きみを愛し 主体的に学び 心豊かで たくましい児童生徒の育成

【君田小学校教育目標】

めあて（夢）をもち 進んで やりぬく 児童の育成

【めざす児童像】

- 進んで学ぶ児童
- 思いやりのある児童
- 健康でたくましい児童

【めざす学校像】

- 児童が学ぶ喜びを実感する学校
- 児童・職員にとって安心安全な学校
- 家庭・地域と協働して児童を育てる学校

III ミッション・ビジョン

【ミッション】（本校の使命・存在意義）

夢と希望をもち、ふるさと君田を誇りに思い、大切にする児童の育成

【ビジョン】（本校の将来像）

地域における文化・教育活動の拠点として保護者・地域から愛され、地域に感動を与える学校

IV 重点事項（努力事項）

1 特に育成する資質・能力

- 主体性：自分の目標（夢）に向かって進んで学習に取り組む。
自分を律し、礼儀正しくルールを守る。
- 伝えあう力：話をしっかり聞き、自分の考えをはっきり言える。
明るく、温かい心を持ち、友達を大切にする。
- やりぬく力：たくましい精神力と体力、行動力を持つ。ともに協力し、汗して働く。

2 特に努力する事項

【経営方針】読書教育の伝統の継続と「複式だからこそできる」をキーワードに個別最適な学びを具現化し、組織力の向上、個々の学力の伸長をめざす。

【研究内容】 複式授業スタイルの確立

- ① 児童を主体的にするファシリテート
- ② 間接指導の充実
- ③ 学び方の系統の確立
- ④ 2学年分の本質に迫る教材研究

V 中心価値・行動規範

【教育宣言】

法令等に則り，児童・保護者の視点に立った心のこもった教育を行います。

【行動憲章】

- 私たちは，学びあい，認めあい，励ましあいのある学校をめざします。
- 私たちは，だれもが安心して学び，安心して遊べる快適な学校をめざします。
- 私たちは，教育的愛情と使命感を持ち，よりよい教育をめざして一丸となって取り組みます。

VI 現状分析

外部環境	【支援的要因】 ☐ 自然環境に恵まれ，地域の「ひと・もの・こと」が充実している。 ☐ 地域の教育力の高さと協力体制及び支援がある。 ☐ 小中連携体制が整っている。 ☐ 読書教育（５３年）の伝統	【強み】 ☐ たくましく，素直な子供 ☐ 活躍の場を設定しやすい児童数 ☐ 同僚性が高い職員集団 ☐ 協力と支援を惜しまない中学校職員 ☐ 学校行事，PTA 活動，地域活動に協力的な保護者 ☐ 郷土愛と支援にあふれる地域住民	内部環境	【支援的要因と強みを生かした取組】 ☐ ゲストティーチャーの招聘等「学校×地域の協働」へのCSの導入 ☐ 学校行事や PTA 活動の見直しによる教育活動の充実 ☐ 小中９年間を見通した資質能力の育成 ☐ 読書教育の継承による豊かな人間性の育成と学力の向上 ☐ 完全複式への円滑な移行
	【阻害的要因】 ■ バス通学児童の下校時刻の変更が難しい。 ■ 校区が広く，少子化と高齢化が進んでいる。 ■ 人間関係の固定化，多様性を欠いた情報や環境となりがちである。	【弱み】 ■ 基礎学力が定着していない児童がいる。 ■ 生活習慣（メディア使用時間）が確立していない児童がいる。 ■ 体力・体幹に課題が見られ，姿勢の保持が難しかったり集中力を欠いたりする児童がいる。		【弱みを克服し，阻害的要因を回避する解決策】 ☐ 日課の変更 ☐ 学力不振の背景の校内支援委員会の開催 ☐ 主体的に学ぶ力を育む授業研究 ☐ 基礎学力定着に向けた授業づくり ☐ 学び方の系統の確立 ☐ 授業交流・相互参観 ☐ 安全・安心を確立するための生徒指導規程の見直し ☐ 学力・生活力の向上に繋がる小中連携の取組の充実

VII 中期経営目標及び短期経営目標

中期 経営 目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	
		取組内容・方策	評価：成果指標または具体的指標 —（主として推進する部・担当）—
主体的に学ぶ力を育む学びづくり 【知】	基礎・基本の徹底	○ドリルタイムでの課題に応じたドリル学習を継続する。 ○学期に1回、君小漢字チャレンジを実施する。 ○全校統一テストを実施する。	・学期末テスト（国算）の全国平均以上の児童の割合 80%以上 ・市学力調査（国算）の評定1の児童の割合 20%以下 ・児童アンケート「授業が分かる」90%以上 【教務部】
	複式授業スタイルの確立	○「みよし結芽育成研修会」に参加し授業研究を計画的に実施する。 ○実態に応じ学習リーダーを中心とした複式指導の充実をねらいとした授業研究・授業交流相互参観を行う。 ○学びの方の系統の確立を図る。 ○ICTの活用	・職員アンケート「研修での学びを生かし、授業改善に取り組んだ」80%以上 ・職員アンケート「複式学級における、学習リーダーを中心とした授業の見通しをもつことができた」80%以上 ・児童アンケート「自分から進んで発表した」80%以上 ・児童アンケート「よく聞き、よく考えるようになった」80%以上 【教務部】
伝えあう力の育成 心づくり【徳】	心を育む読書指導	○読書記録を継続する。 ○読書ボランティアや職員による読み語りを実施する。 ○国語科の読書単元を中心としたプロジェクト型学習単元を実施する。 ○親子読書を継続する。 ○君田図書館や司書等専門家と連携する。	・「読書は好きです」80%以上 ・「家庭で子供は読書をしている」50%以上 【教務部】
	夢を持ち、相手に挨拶・笑顔・笑声（えごえ）を届ける指導の充実	○目標の設定。 ○他者からの評価を工夫する。 ○児童会目標との連動。	・児童アンケート「夢（なりたい自分・目標）があります」80%以上 ・児童・職員アンケート「明るい笑顔であいさつをしています」80%以上 ・児童・職員アンケート「大きな声で返事ができます」80%以上 【生活保健部】
	生徒指導の充実	○縦割り班活動の充実。 ○学校行事における異年齢交流の充実。	・児童・職員アンケート「自分や友達のことを大切にしている」80%以上 【生活保健部】
自己新記録の樹立 からだづくり【体】	立腰・姿勢の定着	○お話朝会での保健指導の実施。 ○授業開始時の「立腰」「黙想」の徹底。	・児童・職員アンケート「PPG（良い姿勢）を意識して学習しています」80%以上 【生活保健部】
	体力の向上	○前年度の結果を踏まえた目標の設定。 ○体力の向上に向けた講師の招聘。	・新体力テストの握力、立ち幅跳びの種目において、前回の自分の記録を上回る児童の割合を50%以上にする。 （1年生は前回の記録がないため、上半期は比較を行わず、下半期から比較を行う。） 【生活保健部】
関心度・信頼度の向上 【信頼される学校】	学校運営協議会を核とした学校づくり	○保護者・地域の学校支援促進 ○学校HP「今日の君田小」等に日々の学校の情報を発信する。	・保護者アンケート「学校だより・HP・学級通信 tetoru は、学校や児童のことがわかる内容になっている」90%以上 ・ゲストティーチャー招聘計画の実施率100% 【総務部】
	働き方改革の推進と学校体制の確立	○コンプライアンスの徹底。 ○週2回の定時退校日の確実な実施。	・職員アンケート「学校は組織として機能し、成熟が進んでいる」90%以上 ・職員の残業時間 月45時間以内 90%以上 【総務部】